

平成 29 年度

2級実験動物技術者認定試験

各 論
(サル類)

試験時間 : 13 時 00 分～15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を1つ鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

平成 29 年 8 月 20 日

(公社)日本実験動物協会

各論：サル類

それぞれの設問について、該当するものを1つ選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

1. サル類の神経系でげっ歯類と比べて退化している部分はどこか。
 - 1) 視覚系
 - 2) 知覚系
 - 3) 大脳皮質
 - 4) 嗅覚系
2. リスザルの寿命として適切なのはどれか。
 - 1) 5～8年
 - 2) 10～13年
 - 3) 15～20年
 - 4) 30年
3. マカク属サル類の永久歯の総数は何本か。
 - 1) 16本
 - 2) 24本
 - 3) 28本
 - 4) 32本
4. マカク属サル類の脊椎のうち7つで構成される組み合わせはどれか。
 - 1) 頸椎・胸椎
 - 2) 胸椎・腰椎
 - 3) 腰椎・頸椎
 - 4) 仙椎・腰椎
5. マカク属サル類の脊椎のうち数に個体差が認められるのはどれか。
 - 1) 腰椎
 - 2) 胸椎
 - 3) 仙椎
 - 4) 尾椎
6. 盲腸に虫様突起が存在するサル類はどれか。
 - 1) チンパンジー
 - 2) カニクイザル
 - 3) リスザル
 - 4) アカゲザル

7. マカク属サル類の循環血液量は3～7 kgの大きさの動物で1 kgあたりどの程度か。
- 1) 20～30 ml
 - 2) 30～40 ml
 - 3) 50～80 ml
 - 4) 90～120 ml
8. マカク属サル類の安静時の呼吸数は何回/分程度か。
- 1) 20～25回/分
 - 2) 30～40回/分
 - 3) 45～55回/分
 - 4) 90～120回/分
9. マカク属サル類の安静時の体温の変動範囲として最も適切なのはどれか。
- 1) 34～36℃
 - 2) 35～37℃
 - 3) 36～40℃
 - 4) 38～42℃
10. 原猿類に分類されるのはどれか。
- 1) ニシメガネザル
 - 2) コモンマーモセット
 - 3) コモンリスザル
 - 4) ニホンザル
11. オマキザル科に分類されるのはどれか。
- 1) コモンリスザル
 - 2) コモンマーモセット
 - 3) アカゲザル
 - 4) インドリ
12. 新世界ザルの生息分布として正しいのはどれか。
- 1) 中央アメリカ
 - 2) アフリカ大陸
 - 3) 中国・インド
 - 4) 南太平洋諸島

13. サル類のうち医学生物学の研究に用いられているのはおよそ何種類か。
- 1) 10 種類程度
 - 2) 20 種類程度
 - 3) 30 種類程度
 - 4) 50 種類程度
14. カニクイザルの飼養等許可（外来生物法）はどの省からうけるか。
- 1) 農水省
 - 2) 環境省
 - 3) 厚労省
 - 4) 文科省
15. アカゲザルの特徴として正しいのはどれか。
- 1) 情動行動の表現が豊かである。
 - 2) 人に慣れやすい。
 - 3) ニホンザルより大きい。
 - 4) 新世界猿に分類される。
16. カニクイザルの特徴として正しいのはどれか。
- 1) アカゲザルより大きい。
 - 2) 頭と手足以外の体毛は灰色がかったオリーブ色である。
 - 3) 尾は短い。
 - 4) ワクチンの試験に特化して用いられ、安全性試験には用いられない。
17. マーモセット科に分類されるのはどれか。
- 1) アイアイ
 - 2) インドリ
 - 3) スローロリス
 - 4) アカハラタマリン
18. マーモセット科のサルの成熟個体としての大きさとして適切なのはどれか。
- 1) マウス程度
 - 2) モルモット程度
 - 3) ラット程度
 - 4) ウサギ程度
19. サル類の寿命の長さについて正しいのはどれか。
- 1) ニホンザル < チンパンジー < ヒヒ類
 - 2) ニホンザル < ヒヒ類 < チンパンジー
 - 3) リスザル < マーモセット類 < ヒヒ類
 - 4) マーモセット類 < チンパンジー < アカゲザル

20. サル類を長期飼育する場合、ツベルクリン検査は年にどの程度実施すべきか。
- 1) 1回
 - 2) 数回
 - 3) 毎月
 - 4) 検疫時のみでその後は不要
21. サル類の糞便検査の検査対象として正しいのはどれか。
- 1) サルモネラ菌
 - 2) 結核菌
 - 3) パスツレラ菌
 - 4) 黄色ブドウ球菌
22. サル類の観察法として正しいのはどれか。
- 1) ポイントは眼、鼻孔、肛門が重要で、被毛の状態に気を配る必要はない。
 - 2) 観察の際は麻酔が必須である。
 - 3) 必ず保定をして隅々まで観察する。
 - 4) 観察者を意識させないようテレビカメラを用いる方法もある。
23. 獣医師による所轄保健所へ届け出が必要なサル類の感染症はどれか。
- 1) マールブルグ病
 - 2) エキノコックス症
 - 3) インフルエンザ
 - 4) ペスト
24. サル類の感染症のうちウイルス性疾患はどれか。
- 1) エボラ出血熱
 - 2) 結核
 - 3) 赤痢
 - 4) アメーバ赤痢
25. サル類の感染症のうち口腔粘膜や舌に水泡が認められる疾患はどれか。
- 1) マールブルグ病
 - 2) エボラ出血熱
 - 3) Bウイルス病
 - 4) リンパ球性脈絡髄膜炎

26. サル類の原虫性疾患のうち潰瘍性大腸炎を示すのはどれか。
- 1) トキソプラズマ
 - 2) 小型条虫
 - 3) 多包虫
 - 4) 赤痢アメーバ
27. 多くの生物では体内合成できるが、サル類とモルモットの体内では合成できないビタミンはどれか。
- 1) A
 - 2) C
 - 3) D
 - 4) E
28. 市販のサル用固型飼料を主食として用いた場合、カニクイザルは1日1頭あたり何g与えるか。
- 1) 80～120 g
 - 2) 150～180 g
 - 3) 200～230 g
 - 4) 250～300 g
29. マーモセット類では飼料によってはクル病を発症する可能性があるが、関与するビタミンはどれか。
- 1) A
 - 2) B
 - 3) C
 - 4) D
30. サル類のグループ飼育での給餌・給水の際に注意する点はどれか。
- 1) 順位の高い個体を優先的に与える。
 - 2) 順位が低い個体が摂取できるように給餌器、給水器を複数にする。
 - 3) サル同士が親密になるように給餌器の間隔を近づける。
 - 4) 給餌の際に順位の高い個体を一時的に隔離する。
31. カニクイザルの1日の摂水量として適切なのはどれか。
- 1) 50～100 ml
 - 2) 120～180 ml
 - 3) 200～600 ml
 - 4) 700～1200 ml

32. リスザルの1日の摂水量として適切なのはどれか。
- 1) 10～50 ml
 - 2) 60～100 ml
 - 3) 120～200 ml
 - 4) 250～600 ml
33. サルの保定のために通常用いる麻酔薬はどれか。
- 1) ペントバルビタール
 - 2) 3種混合麻酔薬
 - 3) ミダゾラム
 - 4) ケタミン
34. サル類を無麻酔下で保定する際、最初につかむのはどの場所か。
- 1) 正面
 - 2) 頭部
 - 3) 背部
 - 4) 側面
35. サル類の術後管理として麻酔後から覚醒までの間に最も配慮すべきことは何か。
- 1) エンリッチメントの観点から直ぐに集団に戻すこと
 - 2) 体温保持のための保温処置
 - 3) 水分補給のための給水装置の確認
 - 4) 通常飼育より高カロリーの飼料の設置
36. サル類における入墨法による個体識別では何番程度まで個体識別が可能か。
- 1) 10番程度
 - 2) 50番程度
 - 3) 100番程度
 - 4) 150番程度
37. カニクイザルの性成熟年齢として適切なのはどれか。
- 1) 雄：1.5歳、雌：1歳
 - 2) 雄：2.5～3歳、雌：2～2.5歳
 - 3) 雄：3.5～4歳、雌：2.5～3歳
 - 4) 雄：4～4.5歳、雌：3.5～4歳

38. チンパンジーの性成熟年齢として適切なのはどれか。
- 1) 雄：4～6歳、雌：3.5～4歳
 - 2) 雄：5～6歳、雌：5～7歳
 - 3) 雄：7～8歳、雌：6～10歳
 - 4) 雄：9～10歳、雌：10～12歳
39. 月経が認められるサル類はどれか。
- 1) コモンマーモセット
 - 2) スローロリス
 - 3) ニホンザル
 - 4) コモンリスザル
40. サル類の月経周期の基準として適切なのはどれか。
- 1) 月経のみられた初日を0日とする。
 - 2) 月経のみられた初日を1日とする。
 - 3) 月経の終了した日を0日とする。
 - 4) 月経の終了した日を1日とする。
41. チンパンジーの月経周期の長さとして適切なのはどれか。
- 1) 約16日
 - 2) 約28日
 - 3) 約32日
 - 4) 約35日
42. 野生下でも年中繁殖性のサル類はどれか。
- 1) リスザル
 - 2) マーモセット
 - 3) アカゲザル
 - 4) ニホンザル
43. マカク属サル類の妊娠診断では交配後何日程度でウズラ卵大の膨れた子宮を触診できるか。
- 1) 10日程度
 - 2) 16日程度
 - 3) 24日程度
 - 4) 28日程度

44. マーモセット類の平均妊娠期間はどれか。
- 1) 145 日
 - 2) 175 日
 - 3) 200 日
 - 4) 230 日
45. サル類の平均妊娠日数を短→長に並べた場合、正しいのはどれか。
- 1) アカゲザル →ニホンザル →ヒヒ類
 - 2) アカゲザル →ヒヒ類 →ニホンザル
 - 3) ヒヒ類 →ニホンザル →アカゲザル
 - 4) ニホンザル →アカゲザル →ヒヒ類
46. サル類の分娩に関する記述のうち正しいのはどれか。
- 1) 普通は午前中に分娩が起こる。
 - 2) 陣痛が起きてから胎子の娩出までには 24 時間程度かかる。
 - 3) 出産後の母親が臍帯をかみ切り、胎盤を処理する。
 - 4) 飼育下の状況ではヒトの看護は必須である。
47. サル類のうち、1 産 1 子のものはどれか。
- 1) マーモセット類
 - 2) リスザル
 - 3) キツネザル
 - 4) ガラゴ類
48. カニクイザルの新生子の体重として適切なのはどれか。
- 1) 100～240 g
 - 2) 250～280 g
 - 3) 300～350 g
 - 4) 400～500 g
49. マカク属サル類の出生後の体重が出生時に比べて 5 倍程度になるのはいつか。
- 1) 生後 2.5 か月
 - 2) 生後 6 か月
 - 3) 生後 12 か月
 - 4) 生後 24 か月
50. 小型サル類の成熟個体を体重測定する際に用いる適切な秤の秤量はどれか。
- 1) 0.5～0.8 kg
 - 2) 1～2 kg
 - 3) 3～5 kg
 - 4) 6～10 kg